

株式会社エクストランス

X-MON3

初期セットアップマニュアル
2018/09 版

まえがき

本書は、X-MON3 系列の初期設定を行うためのマニュアルです。
ライセンスの発行から適用、セットアップウィザードの操作手順などを記載しております。

- 本書における解説環境

X-MON 3.2

本書以外のマニュアルについては X-MON サポートページにログインしてご確認ください。

<http://x-mon.jp/support/>

2016 年 04 月

改定履歴	
2013 年 07 月	初版
2016 年 04 月	第二版
2018 年 09 月	第三版

Copyright (c) 2004-2018 X-TRANS, Inc. All Rights Reserved.

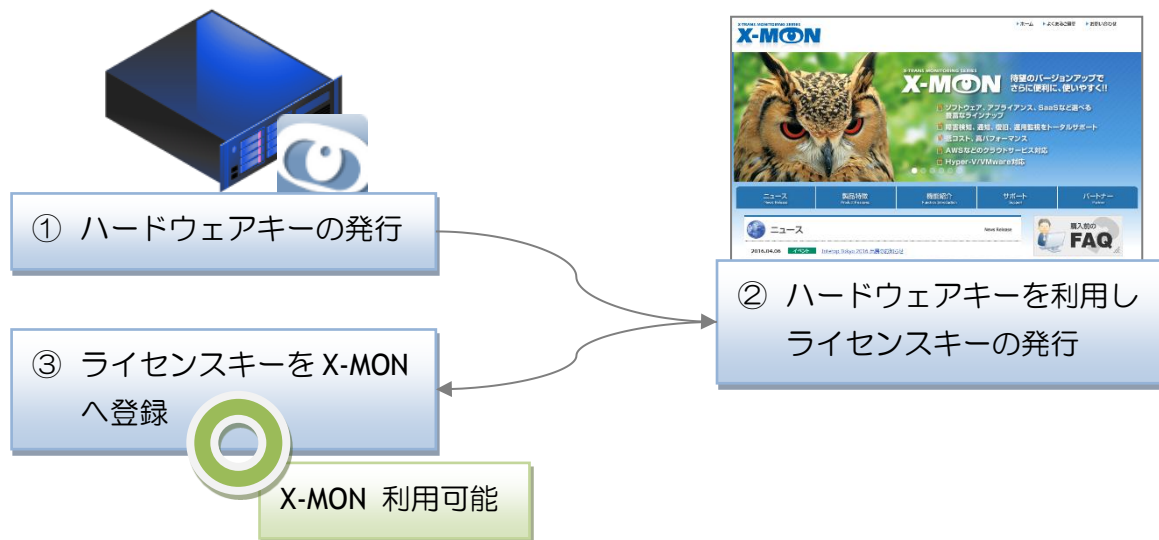
目次

1. ライセンスの登録を行う	3
1.1. X-MON で「ハードウェアキー」を発行する。	3
1.2. X-MON サポートサイトでライセンス登録を行い「ライセンスキー」を発行する。	5
1.3. X-MON へ「ライセンスキー」を登録する。	9
2. セットアップウィザード	10
2.1. 新規で X-MON3 を利用する.....	11
2.1.1. 管理者アカウントの設定	11
2.1.2. メール送信設定	13
2.1.3. 警告灯の設定.....	15
2.1.4. 現在の設定のバックアップ	17
2.1.5. ホスト登録	18
2.1.6. ネットワークマップの検出	25
2.1.7. 設定の反映	27
2.2. X-MON2.2 系統からデータを引き継いで利用する.....	28
2.2.1. X-MON2.2 系統のデータの取得	28
2.2.2. ファイルのアップロード	29
2.2.3. ファイルのコンバート.....	30
2.2.4. 設定の反映	31

1. ライセンスの登録を行う

X-MON を初めてご利用になられる場合、「キー」が登録されていないため監視設定やメール通知を含め X-MON の機能を利用することができません。（ライセンス登録画面のみ表示されます。）

以下の手順で「ハードウェアキー」と「ライセンスキー」を発行し、登録することで X-MON の機能が利用できるようになります。



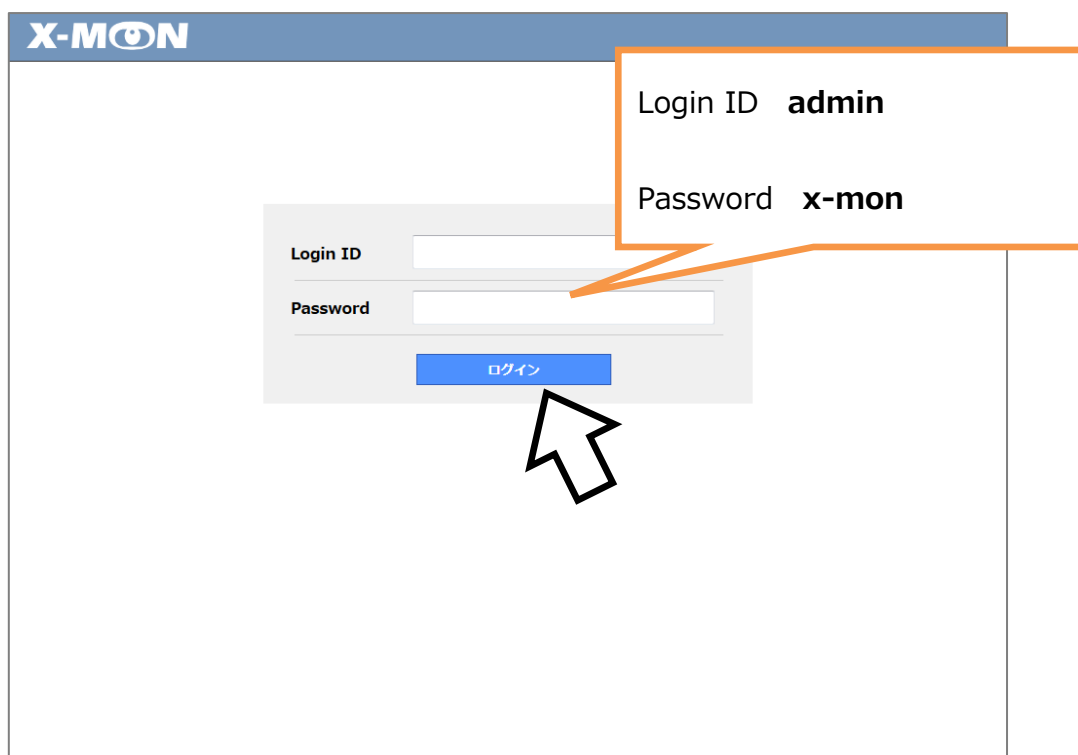
1.1. X-MON で「ハードウェアキー」を発行する。

X-MON へのログインは Web ブラウザから行います。

ブラウザ上部の URL 入力欄に「http://（X-MON をインストールしたサーバ IP アドレス）/」を入力し、ページへアクセスします。



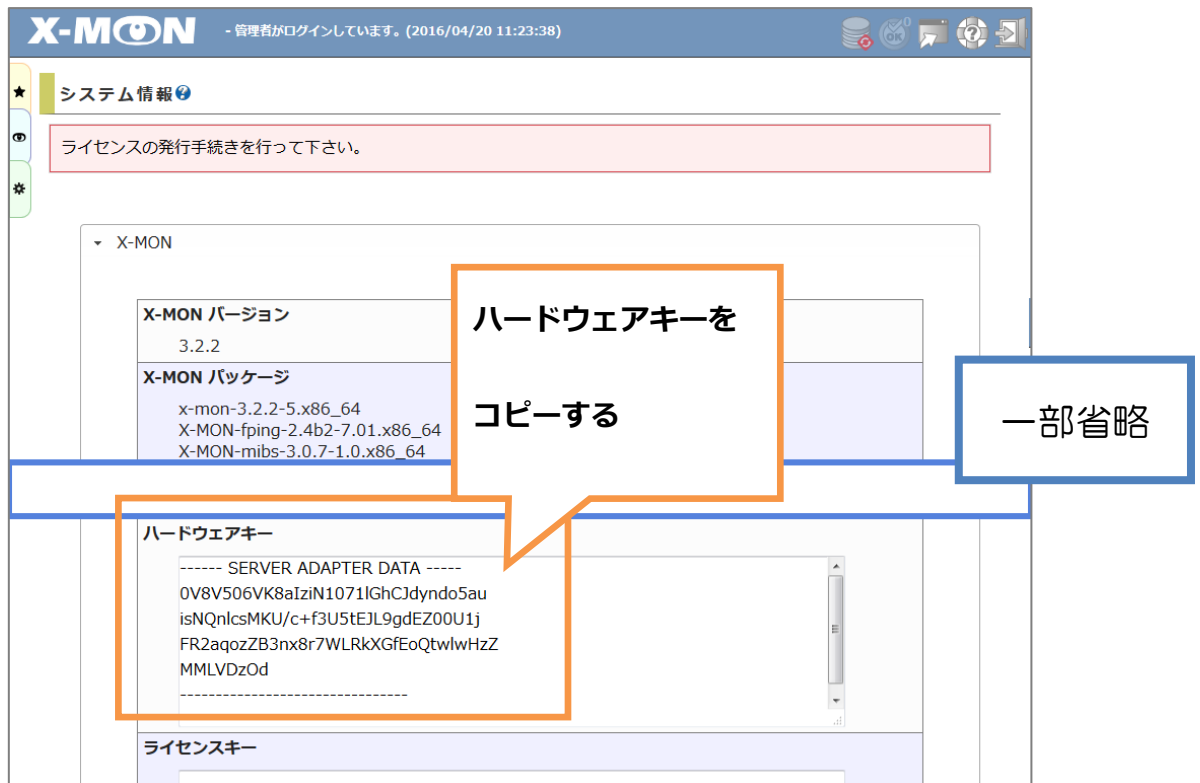
ページへアクセスすると、X-MON「ログイン」画面へ移動します。ログイン ID に「admin」、パスワードに「x-mon」と入力し [ログイン] ボタンをクリックし、X-MON へログインします。



X-MON ログイン後、自動的に「システム情報」画面へ移動します。

X-MON サポートサイトでライセンスの発行を行うには、X-MON「システム情報」画面に表示される「ハードウェアキー」が必要となります。「システム情報」画面のハードウェアキーに表示される文字列をすべてコピーしておいてください。

※ 上下のハイフン (-) も含めてすべてコピーしてください。



1.2. X-MON サポートサイトでライセンス登録を行い「ライセンスキー」を発行する。

ライセンスキーの発行は X-MON サポートサイト（ <http://x-mon.jp/> ）で行います。
Web ブラウザで X-MON サポートサイトへアクセスし、ページ上部の「サポート情報」より「サポートサイト」ボタンをクリックします。



ユーザ登録時に登録したメールアドレスとパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

ユーザ登録が済んでいない場合は、画面に従ってユーザ登録を行ってから、X-MON サポートサイトへログインしてください。

[ライセンス発行] ボタンからライセンスの発行を行います。
認証キーをお持ちの方は、先に「認証キー登録」を行ってください。



ライセンス発行には、X-MON「システム情報」画面に表示される「ハードウェアキー」が必要です。

X-MON サポートサイトで発行するライセンスの種類を選択し、X-MON「システム情報」画面でコピーした「ハードウェアキー」を貼り付け [入力内容で確定] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'X-MON Support' page with a navigation bar containing links: 'ダウンロード', 'FAQ', 'ライセンス情報', 'お問い合わせ', 'ユーザ情報', and 'その他'. The main content area has a heading 'X-MONにて表示されるハードウェアキーをご準備下さい。' and a subtext 'ハードウェアキーはシステム情報にてご確認できます。'. Below this is a form with a dropdown menu for '発行ライセンス種別' (currently showing '選択して下さい') and a large text input field for 'ハードウェアキー'. An orange callout box with the text 'コピーしたハードウェアキーを貼りつける' points to the text input field. At the bottom of the form are two buttons: '戻る' and '入力内容で確定'.

ライセンスの発行処理が完了すると、「ライセンスキー」が表示されます。

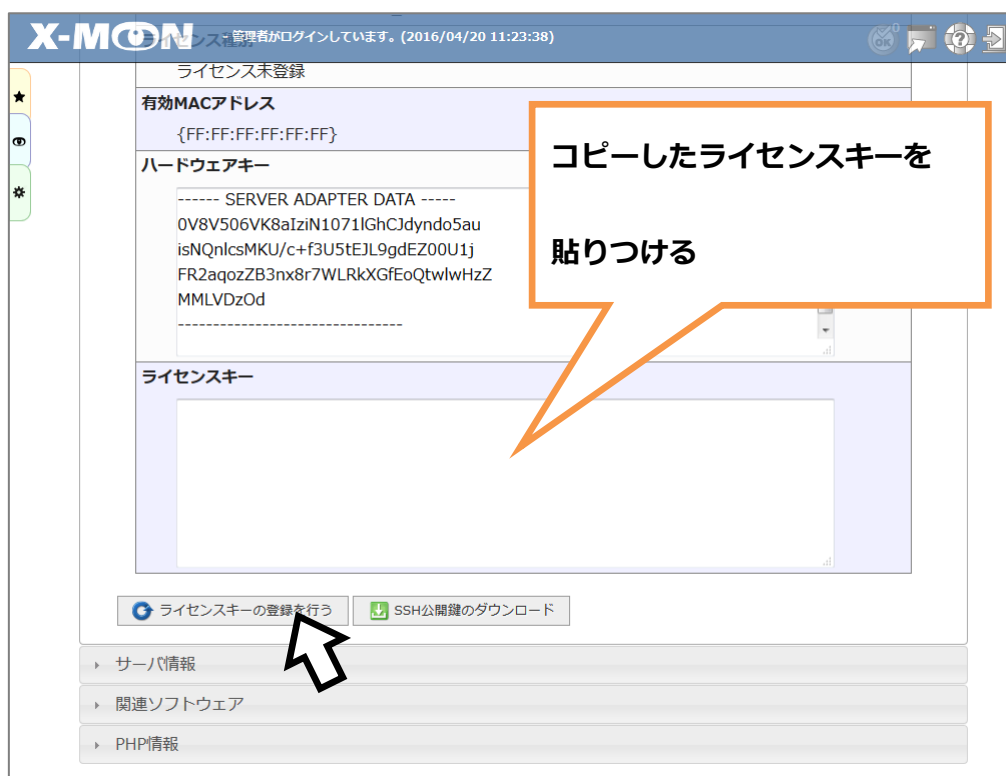
1.3. X-MON へ「ライセンスキー」を登録する。

X-MON サポートサイトに表示された「ライセンスキー」をコピーします。

「ハードウェアキー」同様、上下のハイフン (-) を含む文字列すべてをコピーし、X-MON「システム情報」画面の「ライセンスキー」項目に貼り付けます。

「ライセンスキー」入力後、[ライセンスキーの登録を行う] ボタンをクリックして、ライセンスキーを登録します。

ライセンスキーの登録が終われば、画面左上の X-MON ロゴをクリックして、X-MON トップページへ移動します。



2. セットアップウィザード

ライセンスキー登録後、初回 X-MON 操作時は、必ず「セットアップウィザード」画面へ移動します。



初めて X-MON を使用する場合、または X-MON2.2 から設定を引き継がず新規に X-MON3 を使用する場合は「X-MON3.x.x 初期設定登録」をクリックします。

現在使用している X-MON2.2 系統から設定を引き継いで X-MON3 を使用する場合は「X-MON2.2 系統からのコンバート処理」をクリックします。

※この機能は X-MON3.7.0 以降廃止されています。

X-MON2.2 系統よりアップグレードを行う際は、以下の手順でアップグレードを行ってください。

1. X-MON3.6.x 系統をインストール
2. X-MON2.2 系統のデータを使用し、上記の機能よりコンバート処理を実施
3. X-MON3.7.0 以降へのアップデート

2.1. 新規で X-MON3 を利用する

2.1.1. 管理者アカウントの設定

管理者アカウントを設定します。

各項目には初期値が入力されています。設定を変更したい項目のみ入力します。

入力後は [設定] ボタンをクリックして次へ進みます。

管理者アカウントは以下の項目を設定することができます。

ここで設定したアカウントは管理者メニュー「ユーザ管理」で変更することができます。

項目名	内容	制限
ユーザ名称	ユーザの名称です。画面表示に使用します。	250 文字以下
パスワード	X-MON ログイン時のパスワードです。 admin のパスワードは初期値として x-mon と設定されているので、変更してください。	必須項目、半角英数字と記号 (!"#\$%&'()-^_@[:;],./\<=>?<?>) のみ、6 文字以上 16 文字以下
E-MAIL アドレス	ユーザへメールで通知する際の宛先メールアドレスです。	メールアドレス形式チェック、250 文字以下
携帯モバイル用 E-MAIL アドレス	ユーザへメールで通知する際の宛先メールアドレスです。	メールアドレス形式チェック、250 文字以下

ホスト通知の有効化	ホスト監視の通知を行うかどうか選択します。有効にした場合、ホスト監視でアラートが発生した際にユーザのメールアドレス宛に通知メールを送信します。
サービス通知の有効化	サービス監視の通知を行うかどうか選択します。有効にした場合、サービス監視でアラートが発生した際にユーザのメールアドレス宛に通知メールを送信します。

2.1.2. メール送信設定

X-MON から送信される通知メールの設定を行います。

各項目には初期値が入力されています。設定を変更したい項目のみ入力します。

入力後は [設定] ボタンをクリックして次へ進みます。

[戻る] ボタンをクリックすると管理者アカウント設定ページへ戻ります。

メール送信設定では以下の項目を設定することができます。

ここで設定した内容は管理者メニュー「メール送信設定」で変更することができます。

項目名	内容	制限
メール送信の方法	X-MON から送られる通知メールの送信方法を選択します。	
メールの送信者アドレス	X-MON から送られる通知メールの送信者として設定するメールアドレスです。	必須項目、メールアドレス形式チェック
エラーメールの送信先	X-MON から送られる通知メールのエラーメールの宛先メールアドレスです。	メールアドレス形式チェック
SMTP サーバ	「SMTP サーバ経由での送信」選択時に指定する必要があります。使用するSMTP サーバです。	
SMTP ポート	「SMTP サーバ経由での送信」選択時に指定する必要があります。使用するSMTP サーバのポート番号です。	

SMTP 認証の使用	「SMTP サーバ経由での送信」選択時に指定する必要があります。認証を使用する場合は有効を選択します。
SMTP 認証のユーザ ID	「SMTP 認証の使用」有効時に指定する必要があります。認証に使用するユーザ ID です。
SMTP 認証のパスワード	「SMTP 認証の使用」有効時に指定する必要があります。認証に使用するパスワードです。

2.1.3. 警告灯の設定

X-MON から警告灯での通知の設定を行います。

X-MON が障害を検知した際に、警告灯の点灯・点滅・アラート音で検知をお知らせします。

この設定は管理者メニュー「警告灯管理」から設定することができます。

今すぐ設定しない場合は【 警告灯の設定を行わない（現在の設定のバックアップへ） 】 ボタンをクリックして、警告灯の設定を行わず、次の設定ページへ移動します。

X-MON - 管理者がログインしています。(2016/04/20 14:40:30)

★ セットアップウィザード - 警告灯の設定 -

管理者アカウントの設定 > メール送信設定 > **警告灯の設定** > 現在の設定のバックアップ > ホスト登録 > ネットワークマップスキャン > 終了

警告灯の設定を行うかどうか選択してください。

警告灯の設定を行う 警告灯の設定を行う場合はこちらを選択してください。
警告灯の設定を行わない(現在の設定のバックアップへ) 警告灯の設定をスキップし、設定のバックアップを行います。

← 戻る

X-MON - 管理者がログインしています。(2016/04/20 14:41:58)

★ セットアップウィザード - 警告灯の設定 -

管理者アカウントの設定 > メール送信設定 > 警告灯の設定 > 現在の設定のバックアップ > ホスト登録 > ネットワークマップスキャン > 終了

警告灯の設定を行います。変更する項目のみ入力してください。

* 必須

*ID
OP_WEST

警告灯名称
オペレーション室西側

*IPアドレス
192.168.100.10

警告灯機種
NHM-3FB

警告灯接続タイプ
snmp

*コミュニティ名
example

各項目には初期値が入力されています。設定を変更したい項目のみ入力します。

入力後は [設定] ボタンをクリックして次へ進みます。

[戻る] ボタンをクリックすると警告灯設定選択ページへ戻ります。

警告灯設定では以下の項目を設定することができます。

ここで設定した警告灯は管理者メニュー「警告灯管理」内「警告灯設定」で変更することができます。

項目名	内容	制限
ID	警告灯の ID です。各種設定に使用します。 登録後は変更することができません。	<ul style="list-style-type: none"> • 必須項目 • 半角英数字と記号のみ • 14 文字以下
警告灯名称	警告灯の名称です。画面表示に使用します。	<ul style="list-style-type: none"> • 14 文字以下
IP アドレス	警告灯の IP アドレスです。	<ul style="list-style-type: none"> • 必須項目 • IP アドレス形式チェック
警告灯機種	警告灯の機種を指定します。	
警告灯接続タイプ	警告灯へ接続する種類です。現在は snmp のみ選択できます。	
コミュニティ名	警告灯の SNMP コミュニティ名です。	<ul style="list-style-type: none"> • 必須項目 • SNMP コミュニティ名形式チェック

2.1.4. 現在の設定のバックアップ

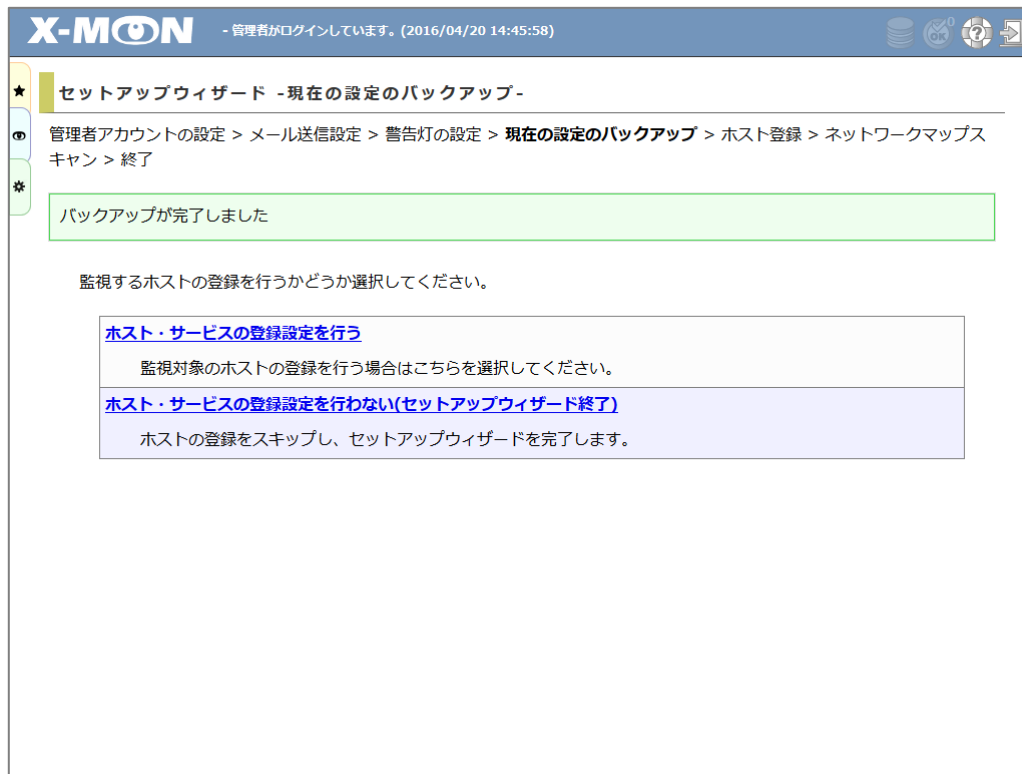
ホスト登録前に現在の設定のバックアップを取得します。
この処理には時間がかかることがあります。

2.1.5. ホスト登録

X-MON で監視するホストの登録を行います。

この設定は管理者メニュー「ホスト管理」から設定することができます。

今すぐ設定しない場合は「ホスト・サービスの登録設定を行わない（セットアップウィザード終了）」をクリックして、ホスト登録を行わず、セットアップウィザードを終わります。



ネットワークのスキャンを行って、登録するホストを検出します。

検出するホストの IP アドレスの範囲を入力して [新しいホストをネットワークから検出する] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the X-MON web interface. At the top, the title bar says 'X-MON' and '管理者がログインしています。(2016/04/20 14:46:32)'. Below the title bar, there's a navigation menu with a star icon and the text 'セットアップウィザード - ホスト登録 -'. To the left of the main content area, there's a vertical sidebar with icons for '管理者アカウントの設定', 'メール送信設定', '警告灯の設定', '現在の設定のバックアップ', 'ホスト登録', 'ネットワークマップスキャン', and '終了'. The main content area has a heading 'ホスト登録' and a subheading 'ネットワークマップスキャン'. Below this, there's a text box with the instruction: '指定したネットワーク上からホストを検出し、監視ホストとして登録します。次のステップでネットワークマップの検出を行うホストにはSNMP情報を設定する必要があります。'. Below the text box, there's a form titled '検出するIPアドレス範囲' with an example: '例: 192.168.10- 1-10で192.168.10.1~192.168.10.10までを検索します。'. The form has input fields for the IP range: '192 . 168 . 10 - . 1 - 10'. At the bottom, there are two buttons: 'ホスト登録をせずセットアップウィザードを終了する' (with a red stop icon) and '新しいホストをネットワークから検出する' (with a green arrow icon).

IP アドレス範囲の入力は、第 3 オクテットと第 4 オクテットについて、範囲を指定することができます。下図の場合では、192.168.10.1 から 192.168.10.10 までの範囲でスキャンを行います。

The diagram shows the '検出するIPアドレス範囲' form. It has a text box with the instruction: '例: 192.168.10- 1-10で192.168.10.1~192.168.10.10までを検索します。'. Below the text box, there are input fields for the IP range: '192 . 168 . 10 - . 1 - 10'.

下図は 192.168.10.1 から 192.168.15.255 までの範囲を指定しています。

The diagram shows the '検出するIPアドレス範囲' form. It has a text box with the instruction: '例: 192.168.10- 1-10で192.168.10.1~192.168.10.10までを検索します。'. Below the text box, there are input fields for the IP range: '192 . 168 . 10 - 15 . 1 - 255'.

ネットワークのスキャンが終わると検出結果が表示されます。検出したホストのうち登録するホストのみ、ホスト名左のチェックボックスにチェックを入れます。

X-MON

- 管理者がログインしています。 (2016/04/20 14:46:32)

★

セットアップウィザード - ホスト登録 -

管理者アカウントの設定 > メール送信設定 > 警告灯の設定 > 現在の設定のバックアップ > **ホスト登録** > ネットワークマップスキャン > 終了

指定したネットワーク上からホストを検出し、監視ホストとして登録します。

次のステップでネットワークマップの検出を行うホストにはSNMP情報を設定する必要があります。

検出するIPアドレス範囲

例：192.168.10-.1-10で192.168.10.1～192.168.10.10までを検索します。

192 . 168 . 10 - . 1 - 3

検出結果

	ホストID	IPアドレス	MACアドレス
<input checked="" type="checkbox"/>	IP_192.168.10.2	192.168.10.2	00:24:F7:79:52:41
	種別：物理サーバ		
	監視設定：ホスト監視を行う		
<input checked="" type="checkbox"/>	IP_192.168.10.3	192.168.10.3	00:24:98:91:E1:C1
	種別：物理サーバ		
	監視設定：ホスト監視を行う		

SNMPバージョン

Version 1

コミュニティ名/認証ユーザ

各項目には初期値が入力されています。設定を変更したい項目のみ入力します。

入力後は【 設定 】ボタンをクリックして次へ進みます。

ホスト登録では以下の項目を設定することができます。

ここで設定した監視ホストは管理者メニュー「ホスト管理」で変更することができます。

項目名	内容	制限
ホスト名	登録するホストの ID です。各種設定に使用します。登録後は変更することができません。	<ul style="list-style-type: none"> 必須項目 重複不可 半角英数字と記号のみ
機器種別	登録するホストの種類です。	
監視設定	登録するホストで監視するサービス群を選択します。初期に選択できる監視設定は下表を参照してください。 ホストの登録のみを行う場合は「監視設定は行わない」を選択してください。	
SNMP バージョン	登録するホストの SNMP のバージョンです。SNMP を使用して監視する場合は入力する必要があります。また、次のステップでネットワークマップを検出する場合には設定する必要があります。	

20

コミュニティ名	登録するホストの SNMP コミュニティ名です。SNMP を使用して監視する場合は入力する必要があります。また、次のステップでネットワークマップを検出する場合には設定する必要があります。	• SNMP コミュニティ名形式チェック
WMI アカウント	登録するホストの WMI アカウントです。WMI を使用して監視する場合は入力する必要があります。	• WMI アカウント形式チェック
WMI パスワード	登録するホストの WMI パスワードです。WMI を使用して監視する場合は入力する必要があります。	• WMI パスワード形式チェック

初期に選択できる監視設定の詳細は以下となります。

監視設定は管理者メニュー「サービス構成管理」で設定することができます。

ここで設定した監視サービスは管理者メニュー「ホスト管理」内「サービス設定」で変更することができます。

項目名	内容	ホストに設定する監視サービス
死活監視パッケージ	ホストの死活監視に必要な、基本的な監視サービスをホストに追加します。	• PING 監視
Cisco2960-24 トラフィック監視	Cisco2960-24 に対応したトラフィック監視と PING 監視のサービスをホストに登録します。	• PING 監視 • TRAFFIC 監視
Cisco2960-48 トラフィック監視	Cisco2960-48 に対応したトラフィック監視と PING 監視のサービスをホストに登録します。	• PING 監視 • TRAFFIC 監視
Linux 標準監視	Linux の標準監視サービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • CPU 監視 • NRPE 経由での NTP サーバ OS 時刻監視 • NRPE 経由でのディスク監視 • NRPE 経由でのロードアベレージ監視 • メモリ監視(Cache/Buffer 除外)監視 • PING 監視 • SSH 監視 • NRPE 経由での SWAP 監視

		<ul style="list-style-type: none"> • TRAFFIC 監視
Linux メールサーバ監視	Linux 標準監視サービスとメール監視サービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • Linux 標準監視に登録されているサービス • IMAP4 監視 • IMAPS 監視 • NRPE 経由でのメールキュー監視 • POP3 監視 • POPS 監視 • SMTP 監視
Linux MySQL サーバ監視	Linux 標準監視サービスと MySQL 監視サービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • Linux の標準監視に登録されているサービス • MySQL 監視 • NRPE 経由での MySQL 監視監視
Linux PostgreSQL サーバ監視	Linux 標準監視サービスと PostgreSQL 監視サービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • Linux 標準監視に登録されているサービス • PostgreSQL 監視 • NRPE 経由での PostgreSQL 監視
Linux Web サーバ監視	Linux の Web サーバ監視サービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • FTP 監視 • HTTP 監視 • HTTPS 監視 • Web コンテンツ改ざん監視 • SSL の証明書有効期限監視
Windows 標準監視	Windows の標準監視と PING 監視サービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • PING 監視 • WMI による WindowsCPU 使用率監視 • WMI による Windows ディスク空き容量監視 • WMI による Windows メモリ空き容量監視
Windows AD サーバ監視	Windows の Active Directory に対応した標準監視サービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 標準監視に登録されているサービス • WMI による Windows サービス監視

Windows DNS サーバ監視	Windows の DNS サーバ監視と PING 監視のサービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 標準監視に登録されているサービス • WMI による Windows サービス監視
Windows メールサーバ監視	Windows のメールサーバ監視と PING 監視のサービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • CPU 監視 • NRPE 経由での NTP サーバ OS 時刻監視 • NRPE 経由での 26- X-MON 初期セットアップマニュアル -WindowsMicrosoft SQL Server 監視 WindowsWeb サーバ監視 Windows の Microsoft SQLServer 監視と PING 監視のサービスをホストに追加します。Windows の Web サーバ監視サービスをホストに追加します。ディスク監視 • IMAP4 監視 • IMAPS 監視 • NRPE 経由でのロードアバレッジ監視 • メモリ監視(Cache/Buffer 除外) • PING 監視 • POP3 監視 • POP3 監視 • SMTP 監視 • SMTPS 監視 • SSH 監視 • NRPE 経由での SWAP 監視 • TRAFFIC 監視
Windows Microsoft SQL Server 監視	Windows の Microsoft SQLServer 監視と PING 監視のサービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 標準監視に登録されているサービス • MSSQL 監視
Windows Web サーバ監視	Windows の Web サーバ監視サービスをホストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 標準監視に登録されているサービス • FTP 監視

- HTTP 監視
- Web コンテンツ改ざん監視
- HTTPS 監視
- SSL の証明書有効期限監視

2.1.6. ネットワークマップの検出

登録するホストから SNMP で情報を取得し、ホストの親子関係を設定します。

ネットワークマップを検出するには、前ステップのホスト登録で SNMP バージョンとコミュニティ名を設定している必要があります。

ここで検出したネットワークマップは監視メニュー「ネットワークマップ」で確認することができます。

ネットワークマップの検出は管理者メニュー「ネットワークマップ検出」から実行することができます。

また、ホストの親子関係の設定は管理者メニュー「ホスト管理」で設定することができます。

今すぐ設定しない場合は「（セットアップウィザード終了）」をクリックして、ネットワークマップの検出を行わず、セットアップウィザードを終わります。



ネットワークマップの検出が終わると、検出結果が表示されます。

X-MON - 管理者がログインしています。(2016/04/21 11:27:31)

★ セットアップウィザード - ネットワークマップ 検出 -

⑥

✱

SNMPコミュニティ名が設定されていないホストの検出は行っていない。ネットワークマップを作成するデバイスは、ホスト管理でSNMPコミュニティ名を設定してください。

以下のホストはSNMP情報が取得できませんでした。
IP_192.168.10.72

```
graph TD; Cloud((Cloud)) --- XMON[X-MON]; Cloud --- IP100[IP_192.168.10.100]; Cloud --- IP53[IP_192.168.10.53];
```

🔄 この内容を設定せずセットアップウィザードを終了する

🔄 この内容で親子関係を設定し承認する

2.1.7. 設定の反映

「登録したデータを反映する」をクリックしてセットアップウィザードで設定した内容を X-MON へ反映します。



これで X-MON の初期設定が終わりました。
さらに設定を行う場合は、管理者メニュー内の各管理ページから設定を行ってください。
監視を行う場合は、監視メニューから確認を行ってください。

2.2. X-MON2.2 系統からデータを引き継いで利用する

X-MON3 は X-MON2.2 系統からデータを引き継いで利用することができます。X-MON2.2 系統のサーバで移行データを生成し、生成した移行データを X-MON3 へアップロードして設定します。

X-MON3 へデータの移行が行えるのは、2.2.15 以降のバージョンとなります。2.2.14 以下のバージョンをご利用の場合は、2.2.15 以降へのアップデート後に移行データの生成を行ってください。

2.2.1. X-MON2.2 系統のデータの取得

X-MON2.2 系統から X-MON3 へ移行するデータを取得します。

X-MON3 iso イメージファイルを X-MON2.2 系統サーバへアップロードし、マウントします。

```
# mount -t iso9660 -o loop x-mon-3.2.2.x64.iso /mnt
```

マウント先の contrib ディレクトリ内にある x-mon3-convert.php をコピーします。

```
# cp /mnt/contrib/x-mon3-convert.php /usr/share/x-mon/
```

コピーしたプログラムを実行して、X-MON3 への移行データを生成します。

```
# cd /usr/share/x-mon  
# php ./x-mon3-convert.php
```

コマンドの実行が終わると、移行データとして/tmp 以下に「x-mon-upgrade.tar.gz」が生成されるので、サーバからダウンロードします。

2.2.2. ファイルのアップロード

X-MON3 セットアップウィザードで「X-MON2.2 系統からのコンバート処理」をクリックした次の画面で、生成した X-MON2.2 系統からの引き継ぎデータをアップロードします。

ファイル選択後は [アップロード] ボタンをクリックしてファイルのアップロードを行います。



2.2.3. ファイルのコンバート

ファイルのアップロードが完了すると、[コンバートを実行する] ボタンをクリックしてアップロードしたファイルのコンバート処理を行います。



2.2.4. 設定の反映

X-MON を再起動して設定を反映します。

これで X-MON の初期設定が終わりました。

さらに設定を行う場合は、管理者メニュー内の各管理ページから設定を行ってください。

監視を行う場合は、監視メニューから確認を行ってください。